長野県安曇野市：安曇野市における地域資源活用による脱炭素化推進事業

環境省

事業計画の特徴

- 安曇野市は、地域エネルギー事業会社である**安曇野RE株式会社と連携協定**を締結。**きのこ培地（年間約6500t発生）を原料とするバイオマス固形燃料を製造し、灯油・重油代替として**きのこ製造や市内温浴施設等で活用する事業や、公共施設等へのPPA方式による太陽光発電設備導入を通じて、地域脱炭素の基盤構築を図る取組を実施。
- きのこ培地を燃料化することで、**培地の処理費用（年間約1.3億円（※））の削減と収益化が可能**になり、**全国的な課題であるきのこ培地活用の先進事例**を目指すとともに化石燃料からの転換及び地域経済の循環にも寄与する。（※）一定の処理料金を仮定した場合の試算。
- さらに、安曇野REが脱炭素についてのノウハウを地域の事業者に展開するなど、地域に裨益する取組を拡大している。

事業計画の概要（民間）

再エネ：986kW

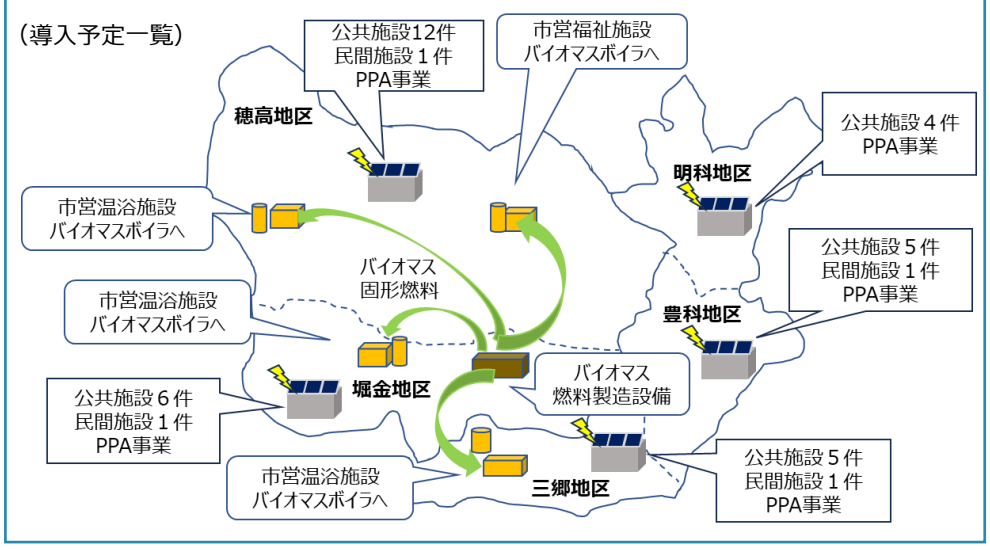
取組（事業者）	規模
太陽光発電設備の導入	• ４件 • 986kW
バイオマス燃料製造システム導入	• 1式

事業計画の概要（公共）

再エネ：2,732kW

取組	規模
太陽光発電設備の導入	• 32件 • 2,732kW
蓄電池の導入	• 16件 • 585kWh
バイオマスボイラーの導入 （きのこ培地固形燃料・乾燥チップ燃料）	• ４施設

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	総事業費	交付金額	計画期間
3,718kW	68,290 t-CO2	15.0億円	8.6億円	令和4年度 ～ 令和8年度

取組のイメージ